

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

宍粟市長

市町村名 (市町村コード)	宍粟市 (28227)
地域名 (地域内農業集落)	道谷地区 (道 谷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 7年11月 4日 (第 2 回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・現状耕畜連携を進める中で、地域計画の目標に合わせ隨時飼料作物の作付けを畜産事業者が農地集約を進める状況。
- ・今回地区産事業者が法人化を行っており地域計画に反映していないので変更が必要。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・将来のあり方は計画変更はないが、担い手の1名である畜産事業者が法人化されたことに伴い耕畜連携の観点から畜産施設を追加し進めるとともに農地を法人農家に集約し地域でサポートする。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	11.10 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	5.70 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	— ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

当初内容に変更なし

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
当初内容に変更なし
(2) 農地中間管理機構の活用方針
当初内容に変更なし
(3) 基盤整備事業への取組方針
当初内容に変更なし
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
当初内容に変更なし
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
当初内容に変更なし

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

変更なし